

累積赤字

20億8千8百万円

国からの補助金 カット

うるま市の
国民健康保険制度があぶない！

市民の約半数が加入している、うるま市国民健康保険特別会計の平成20年度決算で累積赤字が20億8千8百万円となっております。

これまで、一般会計からの繰入や次年度からの繰上げ充用（前借のこと）で何とか運営してきましたが、これ以上赤字が増えると制度が崩壊する危機に直面しています。

国保Q&A

Q1 なぜ赤字なの？

A1. 大きな原因として医療費の伸び、国保税の収納率の低下に伴う国からの補助金の減額などがあります。
※平成18年度と平成20年度の比較で約22億円の歳出の増加（表1参照）

Q2 国からの補助金の減額って何？

A2. 国保税の収納率が91%以上であれば、国から満額の補助金が交付されます。

Q3 補助金はどのくらいカットされているの？

A3. うるま市の平成20年度の収納率が87.76%となっており、平成21年度に交付される補助金は7%の減額が想定され、金額で2億円前後になる見込みです。（表2参照）

Q4 どうしたら補助金はカットされないの？

A4. 国保加入者の皆様が確実に納付していただき、91%以上の収納率を達成すると補助金はカットされません。国民健康保険制度を維持するためにも、納期内納付についてご協力をお願いいたします。

Q5 どうしても納期内に納付が困難なときは？

A5. お早めに市役所・国民健康保険課にご相談ください。

表1：年度別国保特別会計決算状況（単位：千円）

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
歳入総額	14,179,775	15,572,147	15,299,746
歳出総額	15,172,048	16,863,115	17,387,478
差引額	△992,274	△1,290,968	△2,087,731

表2：調整交付金の減額

年度	減額された金額
平成19年度	106,783千円
平成20年度	151,238千円

お問い合わせ

国民健康保険課
☎ 973-3202

うるま市の国保運営
にご協力ください！

※昨年の8月には、「うるま市国民健康保険収納対策緊急プラン」を策定して、国保税の未納者に対する指導を強化しています。国保税の未納がある方は、納期内に納付していただくようお願いいたします。

収納対策緊急プラン（抜粋）

滞納状況の解消

1. 窓口相談の充実、職員・徴収嘱託員による訪問指導の実施。広報等により他保険加入者の発見に努め、早期の資格喪失届の提出を勧奨する。
2. 年4回の納税催告を行い、納付の勧奨を行う。
3. 未申告者のリストを作成し、徴収嘱託員の訪問や、窓口来所時に申告の指導を行う。

徴収方法の改善等

1. 年2～3回の徴収強化月間を設け、夜間訪問徴収と納税指導を行う。
2. 期間を定め、平日役所に来られない市民のために、土・日の相談窓口を開設する。
3. 徴収嘱託員による訪問指導や広報等により、口座振替の勧奨を行う。

滞納処分の実施

1. 滞納者が転出した場合は、その転出者の転出先住所での居住を確認するとともに、転出者の財産調査を行う。
2. 長期滞納者に対しては、財産調査等を積極的に行う。
3. 財産の差押え（預貯金、給与、動産、不動産、国税還付金、軍用地料など）を実施していく。